

## 20周年記念祝賀会・渡邊忠恕記念奨学金第一回授与式のご報告

専務理事 早川 治子

さる9月27日、20周年記念祝賀会・渡邊忠恕記念奨学金第一回授与式がなごやかで、たのしい雰囲気の中、帝国ホテル光の間で行われました。

総勢157名、この日のためにはるばるフィンランドから出席して下さった芬日協会会長マッティ・エネスタムご夫妻、日本語学友会のリーサ・ヌルミネンさん、国内ではベッカ・リントゥ駐日フィンランド大使、フィンランド大使館の方々、大阪の名誉総領事の山本さん、北九州の名誉総領事代理の松岡さん、フィンランド企業、関西日本フィンランド協会福山フィンランド協会、高岡フィンランド協会、スオミクラブ、館野泉ファンクラブの方々、みなさんご多忙の中を遠路ご出席くださり祝福してくださいました。大ピアニストには決して立派とはいえないピアノで「大ピアニスト、ピアノを選ばず」の素晴らしい演奏をして下さった館野泉さん、犬丸社長のご配慮による帝国ホテルの心の籠もった準備と美味しいご馳走、また、沢山の方々から頂いた一杯の祝福、大勢のフィンランドを愛する友人たちとともに20周年の喜びを共にすることができたことは大きな感謝でした。

この日の最大の喜びは、何といっても渡邊忠恕記念奨学金の第一回授与を二名の方々にすることができたことでした。渡邊忠恕氏がこの祝いの席に就いていたらどんなに喜んだことでしょう。でも皮肉なことに、忠恕さんがお亡くなりになったことが契機となって奨学金制度が発足できたのです。忠恕さんの死は「一粒の麦」だったのです。感無量でした。当協会の歴史の中で画期的な事業の開始でした。この事業が順調に進展し、より充実した奨学金制度になるように尽力しなければ、と責任の大きさを感じます。

この日、芬日協会エネスタム会長から10万円がこの奨学金の原資として贈られました。一本の矢は折れるが複数の矢は強いと言葉が添えられました。また、大勢の方々から当日前から、そして当日多額のご寄付頂いております。当日会場におかれた募金箱には68,000円入っていました。お祝いの報告は末尾にありますのでごらんください。最近になって100万円の寄付も届けられています。寄付の申出をして下さっている会員企業もあります。毎月例会の都度募金箱に定額を寄付すると決めておられる会員もあります。このように継続的に参加協力して下さる方々の力は大変貴重であり、継続的参加される方々の力が当協会の底力、実力となって

くのです。

大勢の方々の善意により奨学金は永く継続と充実をはかることができそうです。今回、この企画の実行により教えられたことは、まず「始めること」が最初であり大切なことであるということでした。本当に有難うございました。感謝をもってご報告させていただきます。

今回の受賞者二名はそれぞれ立派な経歴と日本への熱い思いを持った方々ですから、この方々の将来がたのしみです。来春日本に来られるとのこと、今から楽しみです。フィンランドにおける授与式については下村有子さんの報告と写真を、お二人の経歴書を、授与証書（松島洋氏揮毫）は別紙写真をごらんください。なお、証書中の篆刻も松島さんの作品です。詳しくは松島さんの解説をごらんください。

この日のために裏方さんで種々準備にお力をかして下さった事業推進委員の方々、素晴らしい日本語とフィンランド語を操って通訳のご奉仕を下さったシルク坂根さん、帝国ホテルの担当者の方々、そして私の秘書たち、本当に有難うございました。この場を借りて心から感謝申し上げます。

さて、この20年は、協会の基礎作りの到達点であったといえましょう。これからどのような活動をしていくのか、どのような会にしていくのか、会員の皆様方の意思と協力を掛かっています。

今後、協会がどのような立場で、両国の友好親善のために、どのような働きをしていくか、その真価がとわれることとなります。交通、通信の発達により世界は大変狭くなりました。いろいろな情報が容易に伝達され両国の関係はあらゆる分野でかなり密になってきています。最近では経済活動もかなり活発になっているようです。それでも日本にはフィンランドという国の存在さえ知らない人、フィンランドという国を知っていても本当の姿を知らない人が沢山います。フィンランドにも日本という国を、日本の本当の姿を知らない人が沢山いる筈です。

国と国、それぞれが利害を超えて個人として互いに知り合うことは平和の基礎だと思えます。格別の利害関係のない我々のような団体でなければできないことが沢山あると思えます。何よりも文化的な違いを互いに認識し、率直にそれを認め合い、その違いから学び合うこと、そこから真実の友好関係が生まれ、お互いの発展に寄与できるのではないかと思います。会員の皆様方と共に考え、意見を交換しながら、会の運営をして行けたらと考えております。

# 渡邊忠恕記念奨学金

## 受給者リスト

累計	回	年	人数	氏名(カタカナ表記)	氏名(フィン語表記)	年齢	専攻
1	第1回	1996/9/27	2	サッラ トイボネン	Ms Salla Toivonen	26	タンペレ大社会学部政治学修士在
2			リーサ キュロラ	Ms Liisa Kyrölä	30	タンペレ大社会学部マスコミ学科在	
3	第2回	1997/11/3	3	アルト サハラマー	Mr Arto Saharamaa	31	福井、香川県で木製品工房を訪ね、その技術を習得したい。
4			カイ ハンニネン	Mr Kai Hanninen	28	北海道大での日本語・日本文化研究と武道研鑽のため。	
5			ミッコ サッリネン	Mr Mikko Sallinen	26	武蔵野美大で水性木版画を学びたい。	
6	第3回	1998/11/2	3	ミカ ライティネン	Mr Mika Laitinen	32	武道家
7			ヤルッコ ニイッテムマキ	Mr Jarkko Niittymäki	30	東京大共同研究(都市の交通渋滞予防の研究)	
8			アンネリ ヴェルホ	Ms Anneli Velho	37	建築設計(小枝を使った仕切の勉強)	
9	第4回	1999/11/8	2	リーサ カルヴィネン	Ms Liisa Karvinen	33	ジャーナリスト
10			パウリーナ ルオスタリネン	Ms Pauliina Luostarinen	21	ユバスキュラ大在(日本語と書道)	
11	第5回	2000/11/2	2	セイヤ ヤラギン	Ms Seija Jalagin	37	オウル大在 女性による日本での伝道事業1900-1940
12			アンナ=マリ コンティネン	Ms Annamari Kontinen	33	トゥルク大勤務 環境実践活動家としての日本人女性	
13	第6回	2002/4/11	2	ミッコ ルオトネン	Mr Mikko Luotonen	22	ヘルシンキ大在(日本語と日本文化)
14			ペトラ カサグランデ	Ms Petra Casagrande	27	ストックホルム大東アジア研究科在	
15	第7回	2003/4/7	2	パイヴィ ポウッカ	Ms Paivi Poukka	44	ヘルシンキ大(道徳教育)
16			リイッカ ランシサルミ	Ms Riikka Lansisalmi	36	日本民族科学博物館大(和太鼓)	
17	第8回	2004/4/23	2	ヘイディ・ハヴァンシ	Ms Heidi Havansi	26	草の根活動
18			トウイヤ・セツパネン	Ms Tuija Seppänen	50	太宰治研究	
19	第9回	2005/4/13	2	ヴェサー=マッティ カルフ	Mr Vesa-Matti Karhu	28	産業芸術大(愛知)修士
20			マリア ケンピネン	Ms Maria Kempainen	23	ヘルシンキ工大(保健技術)	
21	第10回	2006/4/28	2	ユハ サウナヴァーラ	Mr Juha Saunavaara	25	オウル大歴史学科博士課程在
22		2006/5/22		イルッカ トルマ	Mr Ilkka Törmä	24	ヘルシンキ工大大建築学科在
23	第11回	2007/4/21	2	ラウラ イパッティ	Ms Laura Ipatti	24	トゥルク大政治歴史学科修士課程在
24			リンナ サラマキ	Ms Rinna Saramäki	27	産業芸術大ファッションデザイン学科在	
25	第12回	2008/3/29	2	ペトウリ・ヨルマナイネン	Mr Petri Jormanainen	22	タンペレ大企業経営専攻 ICU留学
26			テロ・スータリ	Mr Tero Suutari	24	オウル大教育学部在 北大留学	
27	第13回	2009/3/28	2	ニクラス・クullストロム	Mr Niklas Kullström	27	ヘルシンキ大美学専攻。早大大学院留学
28			マイヤ・マウコネン	Ms Maija Maukonen	21	ヨエンスー大文化人類学専攻 関西外大留学	
29	第14回	2010/10/16	1	エーロ アンッティライネン	Mr Eero Anttilainen	21	ヘルシンキ工大情報科学科在 東北大・東大留学
30	第15回	2011/10/5	1	アンッティ トルマネン	Mr Antti Tormanen	21	アアルト大 2008年よりフィンランド囲碁チャンピオン
31	第16回	2012/9/3	1	ラッセ レハトネン	Mr Lasse Lehtonen	26	ヘルシンキ大(音楽学、日本学)在 同志社大に留学
32	第17回	2013/7/17	1	エーロ タルヴィティエ	Mr Eero Talvitie	21	ヘルシンキ大在 エスポー-跆拳道協会会長
33	第18回	2014/6/11	1	パイヴィ メルヴィオ	Ms Päivi Merviö	33	アアルト大(産業芸術大学部門)在学 多摩美大留学
34	第19回	2015/9/18	2	ヨハネス パッキラ	Mr Johannes Päckilä	28	フルーティスト(フルート製作等の技術習得と楽譜収集など)
35			カティ キヴィサーリ	Ms Kati Kivisaari	28	ユバスキュラ大博士課程在	
36	第20回	2016/8/8	2	アーロ ハーヴィスト	Mr Aaro Haavisto	24	ヘルシンキ大日本研究修士課程在
37		2016/10/28		サルメ ヴァンハネン	Ms Salme Vanhanen	27	メトロポリア応用大卒 テキスタイル修復専攻

(年齢・専攻は受賞時)